

# 平成28年度 学校関係者評価報告書

学校法人中央総合学園 中央動物看護専門学校

学校関係者評価委員会

中央動物看護専門学校 学校関係者評価委員会は「平成28年度自己点検・自己評価報告書」の結果に基づいて学校関係者評価を平成29年9月21日に実施したので、下記のとおり報告します。

## 1. 学校関係者評価委員

企業等委員：加藤 大典(DOG TRAINING KATO)

企業等委員：横手 郁美(中央動物看護専門学校 卒業生)

企業等委員：手島 順子 (保護者会 会長)

## 2. 平成28年度自己点検・自己評価における学校関係者評価(中央動物看護専門学校)

評価項目	評価	評価に対する今後の学校の取組等
1. 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"><li>●建学の精神のもと、教育理念・目標を定め、社会のニーズに対応した社会人の育成に努力している。</li><li>●学生の多様化に対応できる情報を共有化するための職員会議等を実施している。</li><li>●保護者等に対して、入学前オープンキャンパス進路読本で説明している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○引き続き社会のニーズを踏まえた、新たな知識・技術を提供する機会を拡充していく。</li><li>○職員同志の連携を図るため、全体職員会議は毎月実施する。</li><li>○さらなる周知を図るため、保護者会等でも説明を行う。</li></ul>
2. 学校運営	<ul style="list-style-type: none"><li>●ホームページや学園新聞等を利用し情報開示が行われている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○リニューアルしたホームページにおいて在校生・入学希望等・保護者等が必要と思える情報を随時更新する。</li></ul>
3. 教育活動	<ul style="list-style-type: none"><li>●教育理念や動物看護師統一認定機構推奨のコアカリキュラムに沿ったカリキュラム作成が行われている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○コアカリキュラムをベースに教育課程編成委員などの外部の意見も取り入れながらカリキュラム作成をしている。企業連携やインターンシップなど外部と関わる教育を引き続き行う。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カリキュラムにおける成績評価や単位認定、進級判定、卒業判定においては各期の成績判定会議により定められている。</li> <li>●職員の能力開発についてどのようなことを行っているのか。</li> <li>●研修に行くのに時間を割かなければならないがどのタイミングで受講しているか。</li> <li>●総合臨床実習についてはどのように評価しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校運営者と学年課長その学年の該当担任により、学年別に成績（進級・卒業）判定会議を行う。</li> <li>○所属している全国動物専門学校協会の研修や新人職員のフォローアップ、退学防止などの研修などに参加している。</li> <li>○授業等が無い、土曜・日曜や夏休み・春休みなどの学生が長期休暇のタイミングで受講している。</li> <li>○連携している企業より個々の学生の実習評価を実習終了後に提出して頂いている。</li> </ul>
4. 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●資格・就職・退学防止等、教職員一同目標達成するため日々取り組んでいる。</li> <li>●認定動物看護師の資格習得が最大の目標であるが、学生へのサポートシステムはどのようなものか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資格取得向上のため全国合格率を上回ることを前提に引き続き高い教育水準を保てるように、職員も現場の情報を取り入れ、授業に組み入れていく。</li> <li>○統一試験の過去問題を試験対策として活用し、解説を充実させ理解しやすい授業を実施している。</li> </ul>
5. 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●入学前、入学後の担任面談、保護者会の実施を含め、学生・職員・保護者の連携に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○引き続き、学生のケア、保護者との密な連携を行う。</li> <li>○卒業生等への情報発信も引き続き、HP・学園新聞・SNS等で発信を続ける。</li> </ul>
6. 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設・設備の基準を満たし、教育運営に支障をきたさないような努力がなされているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学生が直接使用する機材等については、講師の申請や現場の教務の判断で見直しを図り、必要な実習が着実に実施できる体制を整備している。</li> </ul>
7. 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>●専修学校各種学校の規定に則り、適切に運営が行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育成果を含めた具体的な学校情報を学園新聞やホームページ等で公開することで学校への理解を促進していく。</li> </ul>
8. 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>●財務体質が健全であり、適切な財務運営が行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外部監査による健全な学校経営を維持するとともに、募集活動の強化、退学率の低減、経費節減に努める。</li> </ul>

	●厳しい学生募集の状況が続くことにより、財務基盤が弱体化する恐れもあるため、学生の安定確保と退学防止、経費節減等に力を入れている。	○管理規定を文書化し、より分かりやすく体制を作っていく。
9. 教育の内部質保証システム	●法令を遵守し、自己点検・自己評価を行うと共にそれらの情報をホームページに公開している。	○法令遵守にあたっては、規定を整備し、全教職員研修において周知徹底を図ることにより、コンプライアンスを推進する体制を早期に実現する。
10. 社会貢献・地域貢献	●社会貢献・地域貢献のために様々なボランティア活動の参加を行っている	○本校の教育資源を活用して社会貢献、地域活動を行っている。より多くの学生が参加できるよう、今後も学生への呼びかけや運用整備を進めたい。 ○前橋ツナガリズム祭りや動物愛護ふれあいフェスティバルへの参加の他、前橋まつりでのだんべえ踊りへの参加や、各クラス定期的に地域清掃を行っている。校内美化委員の活動に於いても隔週位の頻度で地域清掃を実施している。
11. 国際交流	●グローバル化に対応できる人材の育成。  ●外国人留学生の受入れ	○日本人学生については英語村での研修を全学科全クラスで実施予定。 ○留学生の受入れに対する管理体制の整備が必要。

### 3. 総評

今回から学校自己評価報告書のフォームが大きく変更したことから、変更部分も含めて外部関係者委員に細かく上記11項目に対し報告を行ったところ、委員による評価は良好であったことから、中央総合学園中央動物看護専門学校の教育活動、学校運営は概ね高い水準で維持されていると評価され、引き続き実践的な教育の整備並びに学生の学力向上に対する取り組みと時代に即した教育の質の向上を図ることが望まれる。

授業で実習を積極的に取り組むことにより、必要とされる資格・能力等を職員が再認識し、研修等を利用することでさらに高い資格や技術習得に励むことが求められる。職員のスキル向上により授業内容の充実度が増すことを期待する。

以上